

# 中長期ビジョンの策定

## — グランドデザイン(案) —



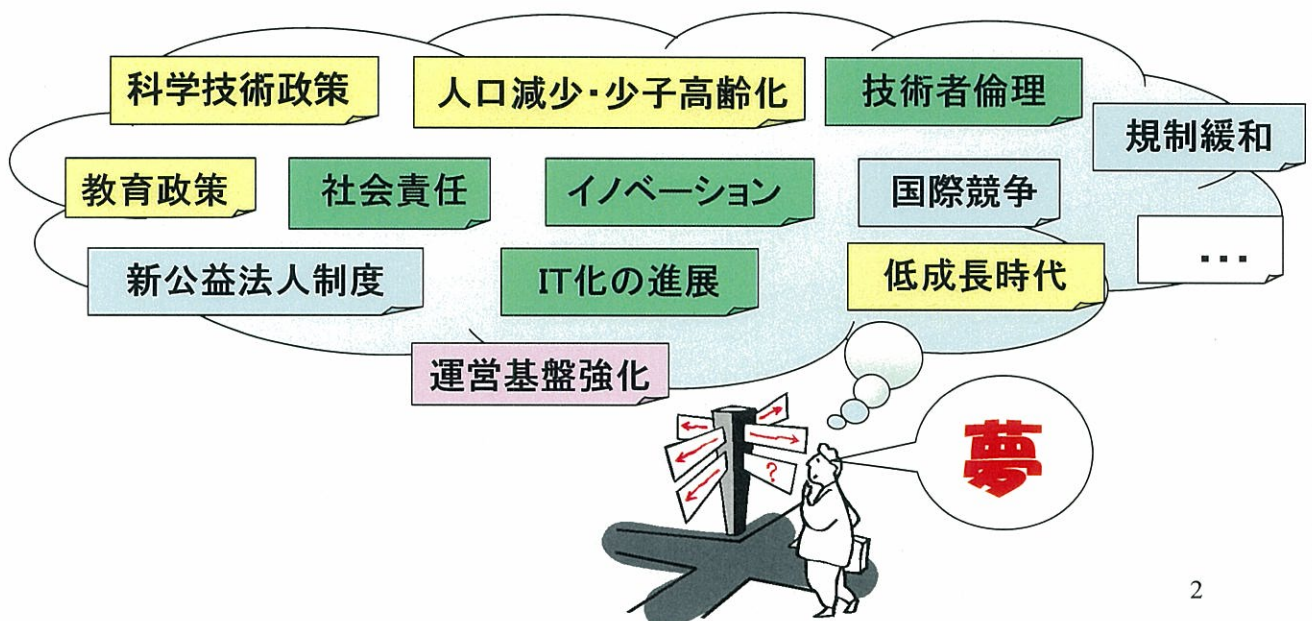
社団法人 電気学会

1

### 中長期ビジョン策定の背景



社会、経済、教育、研究、技術開発など学会を取り巻く環境が厳しい状況にある中、学会が持続的に発展していくためには、中長期的なビジョンの策定が必要です。



2

「中長期ビジョン」は、電気学会が何を目指し、そのために何をしていくかを明らかにします。

## <留意事項>

- (1) **わかりやすく、シンプルに**
  - 内容・表現は簡潔に、目的、達成目標を明示
- (2) **戦略的に**
  - 力を注ぐべきポイント、方向を明確化
- (3) **色々な人の意見を聞く**
  - ステークホルダーからの提言等による協働策定

3

# 中長期ビジョンの基本構成

## 中長期ビジョン

**グランドデザイン** 目指すべき学会像

将来を展望し、電気学会のあるべき姿を示す。

**マスタープラン** 政策A 政策B

目指すべき学会を実現するための政策(=基本方策)を明示する。

**アクションプラン**

施策A-1  
数値目標  
施策A-2  
数値目標

施策(=取り組み)と目標を明示する。  
目的と数値目標を設定する。

**事業執行計画**

事業A-1-1  
事業A-1-2

事業は、状況に柔軟に対応する必要がある。

4

# 各種ビジョン等の時間軸イメージ

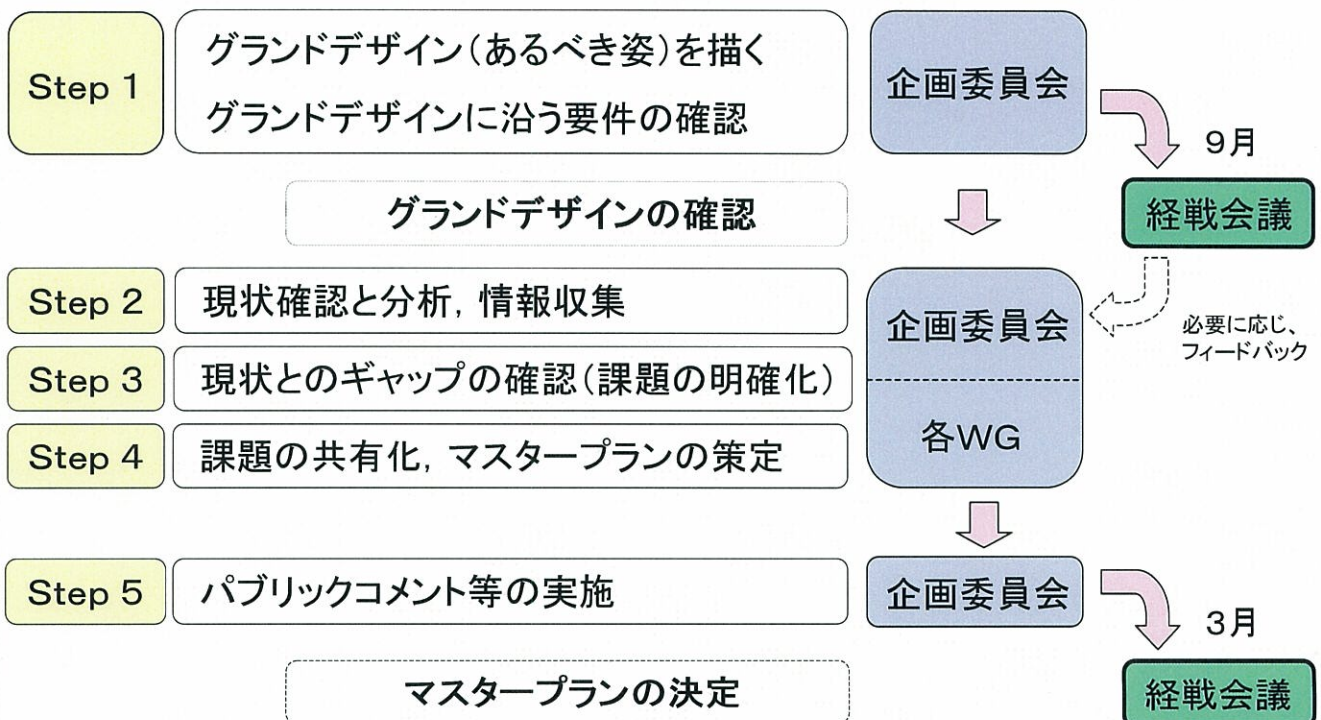
**グランドデザイン** (長期ビジョン: 5~10年程度)

**マスタープラン** (中期ビジョン: 3~5年程度)

**アクションプラン** (短期目標: 1~3年)

**事業計画** (年度執行計画)

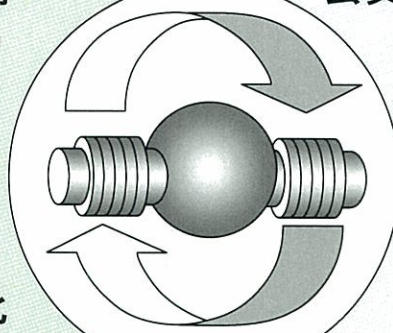
# 中長期ビジョン策定へのアプローチ



公正・中立な立場において、

## 未来へ

社会が求める電気学術  
全般に関する研究の  
進歩とその成果の  
利用普及を図り、  
電気学術の発展と文化  
の向上に寄与します



## 会員へ

会員ニーズに応え、電気学術  
全般に関する知の発見、  
交換、体系化、蓄積  
および適切な発信と  
それらの快適な場を  
提供します

会員の「夢」が原動力

7

## 目指すべき学会像

# あなたの「夢」をサポートします！

電気学会は、会員が自ら切磋琢磨し、相互に認め  
協力し、技術力を高めることができる快適な場となり、  
会員および社会からの声に応え、電気技術を通じた  
「しあわせな未来」への一翼を担う。

8

### **（1）学会プレゼンスの向上**

電気学術の権威として、電気技術の魅力を広く一般にご理解いただけるよう積極的に活動し、電気関係学協会のコアとなる。

### **（2）知的資産の創出**

産学官の有機的な連携のもと、新たな研究領域やビジネスモデル等の創出を支援し、高度な調査研究成果等をタイムリーに発信する。

### **（3）科学技術政策への積極的関与**

科学技術の振興や技術立国への支援として、政府への提言や社会が求める情報を積極的に発信する。

### **（4）国際活動の積極的推進**

国際会議の開催、運営および支援や英文誌の発刊等、国際活動を強化し、国際的評価を向上する。

### **（5）国内外標準規格開発への参画**

JEC規格の知見を活かし、国内外標準規格の開発へ積極的に参画する。

### **（6）科学技術を担う人材の創出・育成・活躍の促進**

電気技術の継承と将来を担う次世代電気技術者の創出・育成に務め、活躍の場を提供することにより、電気技術者の資質と地位の向上を図る。

### **（7）会員メリットの向上**

学会活動の更なる活性化に務め、会員の多様なニーズに迅速・的確に応えるようサービス内容を充実し、様々な「見える価値」を提供する。

### **（8）組織運営基盤の増強**

運営基盤となる組織の効率化と経営資源を戦略的に集中・再配分するとともにインフラ機能の強化を図り、持続的に成長する。

- (1) 魅力ある研究テーマを持続的に創出する機能
- (2) 会員の要望に応えられる体制や活動の場を提供する機能
- (3) 産学官の連携機能の強化や他学協会と連携する機能
- (4) 高度な電気技術者を創出する機能
- (5) タイムリーに情報発信・収集・蓄積する機能
- (6) 健全な運営基盤を維持する組織・インフラ機能
- (7) 国際競争力を強化、維持する機能